

## ● 1981年

- 1月1日「戦旗」第425号(戦旗・共産同)タブロイド化
- ×月×日京都大学政治経済研究会(政経研・機関紙「政経通信」)—結成
- 2月×日『長征』2号—共産同(革命の旗)
- 4月1日北大阪合同労働組合(北合同)—結成
- 5月1日『理論戦線』15号(戦旗・共産主義者同盟)
- 5月×日『火花』—創刊(火花編集委員会)
- 5月26日全国革新懇話会(全国革新懇・日本共産党系)—結成
- 6月15日六・一五安保をつぶせ・日韓連帯・反徴兵・改憲阻止集会(関西共同行動)—結成
- 8月1日共同理論誌『マルクス・レーニン主義研究』—創刊(日本共産党革命左派+共産同蜂起派)
- 8月1日戦旗・共産主義者同盟政治集会(東京)
- 9月×日共産同(赫旗派)—結成(革命の旗派と紅旗派の統合、議長・生田あい)  
機関誌・紙『赫旗』『赫旗』
- 9月×日高原浩之、出獄(獄中11年)
- 10月4日『若きポリシェヴィキ』2号(社学同)
- ×月×日革命的共産主義同盟第五回大会(分散大会)「フェーズⅡ」~三里塚二期決戦論—開始
- 11月×日部落解放同盟荒本支部—部落解放同盟から独立・機関紙「闘魂」
- 12月5日『理論戦線』16号(戦旗・共産同)
- 12月10日『マルクス・レーニン主義研究』2号
- 12月×日部落解放同盟—「西岡・駒井意見書」

## ● 1982年

- 1月1日「統一の旗」創刊号—現代政治研究会・機関誌『統一の理論』・旧民学同「民主主義の旗」派
- 2月2日 三里塚二期阻止連絡会議(阻止連)設立総会(戦旗・共産同系)
- 2月25日『赫旗』創刊号(共産同中央委員会)
- 5月×日「共産主義者の連合について広範な討論をよびかける」(共労党全国協議会)
- 5月15-18日民青同第17回全国大会
- 5月20日『同志』第5号
- 5月30日反戦反核東京集会(代々木公園40万人)
- 5月31日『赫旗』2号(共産同中央委員会)
- 6月15日「解放の通信」創刊号・革命的労働者党建設をめざす解放派全国協議会—形成  
機関紙「プロレタリア革命」→「連帯」
- 6月27日全国日雇労働組合協議会(日雇全協)—結成(山谷争議団、釜日労、笹日労、  
寿日労・沖日労オブザーバー参加)
- 6月×日自主管理研究会—発足(佐藤浩一・成島道官・川上忠雄他)—共産主義者党の分裂
- 7月27~31日日本共産党第16回大会—委員長・不破哲三、書記長・金子満広
- 8月1日戦旗・共産主義者同盟政治集会(東京)
- 8月8日滝田 修—逮捕(地下潜行約10年)
- 8月×日共産同(火花)第一回代表者会議(「綱領・戦術・組織」の確定。機関誌『火花』)
- 8月×日第四インター三里塚現闘団—ABCD問題発年
- 9月1日~中国共産党第13回大会
- 10月8日『若きポリシェヴィキ』3号(社学同)
- 10月×日『三里塚二期決戦—蜂起する革命的左翼と農民』(柴田浩行・前進社)
- 10月24日反核・軍縮・平和大阪行動(大阪城公園10万人)
- 10月30日『社共に代わる革命的労働者党創建にむけた わが同盟の提案』(共産同赫旗派)
- 10月30日「連合し、合流し敵を撃つ」シンポジウム(福岡市—共労党系)
- 11月20~22日革共同革マル派第13回大会—黒田寛一報告
- 12月16日三里塚空港反対同盟大地共有委員会—結成
- 12月17日「赤旗」—「権力弾圧に対する基本的態度」(運輸一般中央本部)~関西生コン労組批判
- 12月27~31日日本共産党第一六回大会(議長—宮本顕治・幹部会委員長—不破哲三)

## ● 1983年

- 2月×日『理論戦線』17号(戦旗・共産同)
- 2月20日『共産主義』18号(共産同RG)
- 3月3日三里塚空港反対同盟「幹事会」—北原鈺冶事務局長解任
- 3月8日三里塚空港反対同盟実行委員会—「幹事会」否認、石井新二事務局次長解任  
「三・八分裂」—北原派(北原鈺冶)と熱田派(熱田 一)に分裂～支援党派、大衆団体の分裂  
三里塚反対同盟(北原派)支持  
革共同全国委員会・革命的労働者協会・共産同(戦旗派)・共産同(蜂起派)
- 3月×日三里塚反対同盟(熱田派)支援声明  
第四インターナショナル日本支部、プロレタリア青年同盟、戦旗・共産主義者同盟  
共産同赫旗派(東峰団結小屋)、共青同(住母屋団結小屋)  
首都社研(共産同プロレタリア派・田辺団結小屋)、坂志岡団結小屋  
共産同全国委員会(白柘団結小屋)、労学連(神田五大学共闘・浅川団結小屋)  
労闘—労活評・人民連帯(中郷団結小屋)、中谷津団結小屋(「前衛」派)  
労農合宿所・労青团(東峰団結の家)、木の根団結小屋(三支労)  
官並団結小屋(日学戦)、三里塚野戦病院・17 団体
- 3月21日エンタープライズ寄港阻止闘争(佐世保)/全学連中核派
- 6月19日反安保・反中曽根集会(代々木公園)
- 7月21日戦旗・共産主義者同盟政治集会(東京)
- 8月×日統一共産同盟第九回大会—評議会革命路線の確立
- 9月×日共産同(赫旗)首都圏委員会—分裂(機関誌『論叢』発行)
- 9月15日フォト雑誌『ひろば』—創刊号(ひろば編集委員会・原一美編集長～83号93年7月)
- 9月19日「三里塚現闘団員四名の除名とわれわれの自己批判」(第四インター)
- 9月18日全国労働者政治委員会(全国労政)—結成大会—共産同(全国委員会)系
- 10月1日『マルクス・レーニン主義研究』3号
- 10月10-11日(全自連)関西地区生コン支部第19回支部大会—日本共産党と決別
- 11月3日日雇全協—山谷・対金町戦開始(～88年)

## ● 1984年

- 1月9・10日革共同中核派「人民革命軍」—第四インター活動家自宅襲撃～全国五か所
- 1月10日「声明 中核派のテロ行為を弾劾する！」三里塚反対同盟(熱田 一)
- 1月10日「緊急アピール 権力の意図に手を貸す襲撃 心から憤りを禁じえない」(三里塚闘争に連帯する会)
- 1月16日「声明 中核派のテロ襲撃弾劾し反対同盟と三里塚闘争を防衛せよ」日本革共同政治局(「世界革命」)
- 1月×日トナホークの配備を許すな！全国運動—結成
- 3月4日唐牛健太郎(第一次共産同・全学連委員長)—死去(享年47)
- 3月7日「声明」(348氏・代表会見—前田俊彦・福富節男・近藤悠子・吉川勇一)  
「一月九、十日におこされた三里塚闘争にかかわる活動家への暴力による襲撃事件に  
われわれは衝撃を受け、このような事件の再発を深く憂慮する・・・」
- 5月×日社会主義労働者党(社労党)—結成(マル労同の改組)  
機関紙「変革」→「週刊労働者新聞」→「海つばめ」
- 6月1日『鉄の戦線』6号(共産同蜂起派)
- 6月30日全斗煥来日阻止！関西学生総決起集会(京大・五百人)  
安保粉砕！日韓連帯！関西学生連絡会議(関西学連)—結成
- 7月5日革共同中核派「人民革命軍」—第四インター活動家自宅襲撃、
- 7月14日革共同中核派「人民革命軍」—第四インター活動家自宅襲撃～計全国三か所
- 7月26-29日民青同第18回全国大会
- 9月5日全斗煥来日阻止京都総決起集会(円山公園/戦争問題を考える会・洛南労働者政治委員会他)
- 9月6日全斗煥韓国大統領来日阻止闘争
- 9月19日革共同中核派・革命軍—自民党本部火炎放射攻撃
- 9月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)第十二回大会(レーニン主義的党建設)
- 10月5日「共同声明」(588名・鎌田 慧・阿部宗悦・高木仁三郎・他)—10月15日「労働情報」号外
- 10月28日全日本医学生自治会連合(医学連)—再建大会(民青同系)
- 11月18日総評・全日本建設運輸連帯労働組合(連帯)—結成

- 12月×日『理論戦線』18号(戦旗・共産同)
- 12月22日佐藤満夫(元ML同盟・映画監督/山谷・対金町戦)刺殺(享年37歳)
- 12月22日『共産主義』19号(共産同RG)

### ● 1935年

- 1月22日向坂逸郎(社会主義協会)―死去(享年87歳)
- 3月×日革共同革マル派第14回大会
- 5月20日岡本公三(日本赤軍)、捕虜交換で釈放(獄中14年)
- 8月25日『理論戦線』第19号(戦旗・共産同)
- 9月4日吉田金太郎(元工員・元共産同赤軍派・よど号HJグループ)―「事故死」(享年35歳)
- 10月20日三里塚空港二期着工阻止闘争(第一公園・4千名)
- 11月×日今野 求(日本革共同)―離党～分派闘争開始―P(プロレタリア)派、L(レーニン主義)派
- 11月19～24日日本共産党第17回大会
- 11月29日千葉動労ストライキ―革共同中核派「浅草橋駅闘争」  
革共同中核派革命軍―首都圏、関西等の国鉄二十二路線34ヵ所通信ケーブル切断攻撃
- 12月×日共産同(赫旗)派―「建党協」推進グループ(生田あい等)を除名

### ● 1936年

- 1月1日「革命的内戦をどこまでも激化させ三里塚・国鉄決戦の大勝利をかちとれ」(「前進」)
- 1月13日山岡強一(山谷争議団・日雇全協/山谷・対金町戦)―銃殺(享年45歳)
- 1月20日革共同革マル派、福嶋慎一郎(京大・中核派全学連委員長代行を襲撃―死亡)
- 1月22日日本社会党第五回統開大会―「日本社会党の新宣言―愛と知と力の創造」決定
- 2月11日「プロレタリア通信」第1号(「プロレタリア通信」編集委員会)  
「機関紙の発刊にあたって マルクス主義の復権・世界党を建設せよ！」  
(羽山太郎、佐藤 保、嶋田悦司、八木健彦)
- 2月25日山田義昭(日本赤軍)、警視庁出頭、逮捕
- 4月×日『理論戦線』第21号(戦旗・共産同)
- 4月29日天皇在位60年式典粉砕闘争(三千名・京都円山野外音楽堂2千5百名)
- 5月7日検察庁「五・七宣言」(弾圧体制)
- 5月×日共産主義者の建党協議会(建党協)―発足総会(機関誌『建党』一創刊)  
(山川暁夫、いいだもも、生田あい、労働者社会主義研究会、青共同・準他)
- 8月20～22日革共同革マル派第15回大会
- 9月6日日本社会党第五回大会～委員長―土井たか子・選出
- 9月9～11日国鉄労働組合(国労)第五〇回臨時全国大会(修善寺・「四党合意」否決)
- 10月×日『理論戦線』第22号(戦旗・共産同)
- 11月21～24日民青同第19回全国大会
- 11月30日国鉄動力車労働組合総連合(動労総連合)―結成(動労千葉+動労水戸+動労連帯高崎+動労西日本)
- 12月26日高橋良彦(松本礼二・第二次共産同)―死去(享年57歳)

### ● 1937年

- 2月2日全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)―結成・革マル派・松崎 明の分裂?
- 2月×日統社同第十四回大会―フロント[社会主義同盟]に改称・議長―朝日健太郎
- 2月×日日本革共同(第四インターナショナル)第十三回大会(分派闘争公然化)
- 3月×日野島三郎(革共同政治局員)―「モラル問題」「差別問題」発覚
- 4月1日国鉄分割・民営化(JR六社)―国労組合員―〇四七名「国労闘争団」結成
- 4月4日『共産主義』20号(共産同RG)
- 4月×日天皇制の強化を許さない京都実行委員会・結成(28団体)
- 6月×日共産主義者党―ネットワーク組織に改組―機関紙「ネットワーク」329号(「前衛」改題)～
- 6月21日沖縄日雇労働組合―結成(委員長―上江洲健・金城あゆみ)～日雇全協オブザーバー参加
- 7月12日戦旗・共産同、三里塚空港工事関係の建設会社、全国13ヵ所のダンプカー焼却攻撃
- 8月×日共産同(火花)第二回大会(世界革命戦争路線の総括、転換)
- 9月4日三里塚空港反対同盟(北原派)―分裂・反対同盟(小川派)小川嘉吉・吉平等
- 10月×日『理論戦線』第24号(戦旗・共産同)
- 10月×日10月集会・明日の労働運動を担う全国労働者討論集会・「連合」結成反対、

- 10月25日～11月1日中国共産党第13回大会
- 11月24日丸岡修(日本赤軍)、逮捕(東京)
- 11月25～29日日本共産党第18回大会
- 12月×日『理論戦線』第25号(戦旗・共産同)
- 12月1日第四インターナショナル日本支部再建準備委員会(MELT)—結成・分裂  
(寺岡 衛・機関誌紙『労働者の旗』『インターナショナル』)

### ● 1988年

- ×月×日岡本 武(京大・元共産同赤軍派・よど号HJグループ)—「変死」(享年43歳)
- 1月×日民主統一同盟—結成(戸田政康、マル青同解散)
- 1月×日永井啓之—革労協狭間派から除名—永井グループ、三里塚反対同盟(小川派)支持
- 2月×日労働者社会主義同盟—結成大会(日本労働者党と建党同盟の統合・機関紙「人民新報」)
- 3月×日社会主義協会(大田派)—機関誌名改称『進歩と改革』・進歩と改革研究会
- 5月×日『理論戦線』第26号(戦旗・共産同)
- 5月10日柴田勝弘(よど号グループ)逮捕
- 5月20日「不屈の旗」第36号(自衛隊市ヶ谷兵士委員会機関紙)
- 5月30日京都大学政治経済研究会(政経研)—革共同中核派とゲバルト戦
- 6月7日泉水博(日本赤軍)、マニラで逮捕
- 8月20日労働青年同盟第一回総会(機関紙「青年の旗」—労働青年同盟準備会の改組～旧民学同「新時代」派)
- 10月×日『理論戦線』第27号(戦旗・共産同)
- 11月×日共産同首都圏委員会—(共産同(轉旗)首都圏委員会改称・機関誌名改称『風をよむ』)
- 11月23日北摂反戦民主政治連盟—結成(76年能勢農場・「人民新聞」系)
- 12月×日『2001年』VO1(社会主義研究会)

### ● 1989年

- 1月7日Xデー(昭和天皇死去)
- 2月×日『理論戦線』第28号(戦旗・共産同)
- 2月×日全国労働組合交流センター—結成(代表—中野 洋・佐藤芳夫、中核派系)
- 3月6日志賀義雄(元日本のこえ)—死去
- 6月14日中島鎮夫(田原 芳・同志社大学)—死去(享年50歳)
- 6月25日永井啓之(革労協狭間派幹部)—拉致・死亡(享年・・)
- 7月20日三里塚空港反対同盟(熱田派)、戦旗・共産同への絶縁声明
- 7月29日戦旗・共産主義者同盟政治集会(東京)
- 7月31日「島田事件」・赤堀政夫—無罪判決(静岡地裁・再審)
- 8月7日伊藤 律(元日本共産党)—死去(享年76歳)
- 8月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)第十四回大会—分裂大会
- 8月×日国際主義労働者全国協議会—結成・分裂(織田 進・機関紙「労働者の力」)
- 11月20日日本労働組合総連合(連合・約670万人)—結成
- 11月21日全国労働組合総連合(全労連・約98万人)—日本共産党系結成
- 12月9日全国労働組合連絡協議会(全労協・約16万人)—結成
- 12月27日塩見孝也—出獄(1970年逮捕～獄中20年)

### ● 1990年

- 2月1日『理論戦線』30号(戦旗・共産同)
- 5月×日社会批評社—設立(小西誠)
- 7月9～13日日本共産党第十九回大会～委員長—不破哲三、書記長—志位和夫
- 6月×日『人民革命』—創刊(PEOPLE'S REVOLUTION 編集委員会・日本赤軍)
- 6月×日『2001年』VOL2(社会主義研究会)
- 7月×日『若きボリシェヴィキ』5号(社学同)
- 7月9～13日日本共産党第19回大会
- 8月×日革共同革マル派第16回大会
- 10月×日90年代の共産主義運動を考える研究会—発足(機関誌『研究会報』)
- 11月1日革労協—新宿区警視庁清和寮爆弾攻撃
- 11月10～28日三里塚「横堀砦」死守戦

- 11月14日若宮正則(元釜ヶ崎赤軍)—死去(ペルー・享年45)
- 12月9日川島 豪(元日本共産党革命左派神奈川県委員会)—死亡(享年49歳)
- 12月×日フォーラム90s—結成(機関誌『フォーラム90s』→『月刊フォーラム』)